

住宅地盤会社としてのコンセプト

1. 沈下事故ゼロを目指して

わが社は、住宅地盤の沈下事故ゼロをめざして、以下のコンセプトを貫いています。

土地が素地である段階から事前調査を行い、造成工事中も確認調査をすることで、品質の高い造成宅地の完成をお手伝い致します。

スウェーデン式サウンディング試験のみに頼らず、貫入能力の高いオートマチックラムサウンディング試験を積極的に活用することで、地盤状況を適正に把握します。

中規模以上の造成現場では、必要に応じて試料採取を実施、腐植土層の確認などを行い、見えないリスクの排除に努めます。

柱状改良、鋼管などの地盤補強工事が必要である場合は、1棟毎に地盤改良についての設計検討を行い、施工マニュアルに頼るだけの工事をなくします。

柱状改良工事については、記録装置付きクローラー式リーダーマシンを標準とします。

スウェーデン式サウンディング試験



記録装置付きクローラー式リーダーマシン



オートマチックラムサウンディング試験



2. なぜでしょうか。

なぜ、オートマチックラムサウンディング試験なのか
スウェーデン式サウンディング試験だけでは、地表が固い場合や礫などの小石が多い地盤では貫入できず、その下の軟弱層を見逃すことがあるからです。また地盤補強工事をする時の支持層厚の確認ができない場合があるからです。

なぜ、一棟ごとの設計にこだわるのか
安全性と経済性を担保するためです。これなくしては、我々自身も不安です。

なぜ、記録装置付きクローラー式リーダーマシンなのか
建柱車と比較して3倍～4倍程度の施工能力を有しています。このことで地中に造成するコラムの品質が高く保たれます。また、記録装置が付いていることで、施工状況をすべて工事報告書に掲載することができ、手抜き工事の心配がありません。

ほんとうに経済的なのか
確実性の高い調査と能力の高い杭打ち機の使用はコストがかかります。しかし、全体システムへの取り組みと安全性と経済性を追求する設計で、コストの壁を克服します。

住宅地盤会社としての保証体制

有限会社ウィルコンサルタントは、ジャパンホームシールド株式会社の登録会社であり、また、財団法人住宅保証機構の地盤保証制度における地盤会社の登録を受けている会社です。さらに、三井住友海上火災保険会社において上限1億円の生産物賠償責任保険(PL保険)に加入しておりますので、安全安心のために是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。



ジャパンホームシールド 株式会社

財団法人 住宅保証機構

